

特色ある取組<国際社会に貢献する人材の育成>

## 世界に羽ばたく 「高い志」を持った生徒を育てる

市立浦和高等学校 校長 平川 充保



### 1 はじめに

本校は今年で開校77年目。併設型中高一貫教育校となって11年目を迎えている。平成28年度は、東京大学をはじめ難関国公立・私立大学へ多くの生徒が進学し、現役進学率は約85%。さいたま市民、県民の期待に応える教育活動の推進に日々努力している。

### 2 世界に目を向ける取組

本校は「国際社会に貢献する高い志を持った人材の育成」を学校教育目標に掲げ、世界に目を向ける取組を数多く実践している。

#### (1) 姉妹校交流

アメリカ・リッチモンド市のクローバーヒル高校との交流は18年目である。6月に訪問団が来日し、授業や学校行事への参加、ホームステイ等での交流を深め、本校からは3月に10名の生徒が訪問し相互交流を深めている。



#### (2) シンガポール・マレーシア修学旅行

シンガポール・マレーシアへの修学旅行は8年目である。マレーシアの「寛柔ハイスクール」との交流、シンガポールでの班別自由見学など、国際社会に目を向け、グローバルな視野を持つ良い機会となっている。中学3年で実施するオーストラリアでの「海外フィールドワーク」も、国際感覚を育てる意義ある活動となっている。

#### (3) 長期留学生の派遣と受け入れ

留学生の派遣と受け入れも毎年実施している。今年度はアメリカとフィンランドへの派遣と、フィンランドからの受け入れを行っている。

る。1年間の留学で生徒は大きく成長し、広い視野の獲得と、学びのモチベーションにつながっている。

#### (4) インターアクト部の活躍

英語でのディベート大会に出場するインターアクト部は、日本のトップレベルで活動し



ている。今年もタイで行われた「世界大会」や、韓国での「北東アジア選手権」に「日本代表」として出場している。来年度も、日本代表としての「世界大会」、「全米大会」出場を決めており、英語を母語としない本校生徒が、英語を母語とする生徒と互角に競い合っている。

#### (5) その他の活動

今年度は「青少年赤十字ユース会議」でモンゴルを訪問した生徒や、市の「高校サッカー選手団」としてニュージーランドで活動した生徒もおり、多くの生徒が世界に活躍の場を広げている。

### 3 今後の課題

グローバル化が進展する中、多様性の中で学ぶ機会を持つことは、生徒の個性と才能を引き出し、世界に羽ばたくリーダーシップと人間性を育む上で極めて重要である。現在これまでの取組に加え、本校独自の「海外大学生徒派遣プログラム」の実施を検討している。

今後も、世界に羽ばたく「高い志」を持った生徒の育成に取り組んでいきたい。